

第2次鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画（第6次鳥取県男女共同参画計画）（素案）
に係るパブリックコメントの実施結果及び第3回鳥取県男女共同参画審議会の開催結果について

令和8年1月21日
未来創造課

男女共同参画社会基本法及び鳥取県男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画計画として策定する「第2次鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画（第6次鳥取県男女共同参画計画）（素案）」について、以下のとおりパブリックコメントを実施しました。

また、このパブリックコメントを受けて、第3回鳥取県男女共同参画審議会を開催しましたので、結果を報告します。

- 1 募集概要 (1) 募集期間：令和7年12月17日から令和8年1月7日まで（22日間）
(2) 募集方法：郵送、ファクシミリ、メール、電子申請サービス、意見箱への投函、市町村窓口、説明会等
- 2 意見の件数等 46件（12名）（うち県内28件（8名）、県外9件（3名）、不明9件（1名））
- 3 主な意見と対応方針

区分	意見の概要	対応方針等
用語	「多様な幸せ (well-being)」とあるが、「多様な幸せ」の意味が伝わりにく いし、「well-being」とは「幸せ」ではなく「よりよい状態」。括弧書きでは なく、注釈を入れてはどうか。	「多様な幸せ」を削除し、「ウェ ルビーイング (well-being)」と して注釈を追記します。
	思い込み（アンコンシャス・バイアス）やウェルビーイングなどの新しい用語 を無理に普及させようとするのは混乱の元なので、わかりやすさを優先して欲 しい。県民の誰もがわかりやすい言葉である必要を感じる。	それぞれ注釈を追記します。
農業へ の女性 参画	まずは多くの女性が農業に関心を持ち、農業人口が多くなるのが大切。しかし、 力仕事などといったイメージのバイアスがあるので、それを解決するためにスマー ト農業の取組などが必要。「女性の経営参画に向けて活動しやすい環境づくりを進 めます」とあるが、もう少しその辺りがイメージできるような表現があるとよい。	スマート農林水産業の導入によ る女性の就業促進を追記しま す。
地域へ の女性 参画	政策に関心を持つ人を増やすためにも、審議会や委員会等の会議に参画する又 はしたいと思う子育て中の方のために、託児を設けるなどしてはどうか。	女性や若者が参画しやすい環境づ りの推進として託児を追記します。
	女性の自治会長の割合を増やすためにどうするかという具体策、主な取組が書か れていない。また主な取組の「女性」は「女性や若者」としてはどうか。	自治会の取組及び若者につい て追記します。
男性の 視点	妊娠・出産等は男性にも女性にも大事なこと。「女性だけでなく男性も」という後付 けではなく、男性も主語にしてほしい。男女ともに性に関する課題があるように思う。	段落末尾でなく冒頭に「性別に かかわらず」と追記します。
	男女どちらの視点も大切。男性にも身体的・生理的な健康、心理的・社会的なプレ ッシャー等はたくさんある。特に男性の相談場所の記載はあるか。	男性特有のプレッシャーや男性 相談について追記します。
性教育	現場では身近な人による低学年の女兒への性暴力が実際に起こっている。親もど うしたらよいかわからない状態。やはり早期から、年齢や成長に応じた知識と倫理 を身につけられるように、家庭の中でも性や生殖に関してオープンに教育できるよ うになってほしい。	子どもの頃からの教育・普及啓発 を追記します。
メディ アリテ ラシー	「様々な情報を自分の判断で適切に見分けられる能力」とあるが、自分で判断する前 に巻き込まれてしまうような危険なものだと認識できるメディアリテラシーが必要であ り、「様々な情報を自分で判断し」ということだけでは足りない。客観的には悪い判断 でも本人が適切だと判断したらそれでよいのか。「自分の判断で」は不適切と考える。	「自分で判断し」を削除します。
相談	どの施策にも、相談支援の視点が必要と考える。相談は全施策に関わるとても大事 なものであり、計画上に明示した方がよい。	相談体制の充実等について追 記します。

4 第3回鳥取県男女共同参画審議会の開催結果について

(1) 開催日 令和8年1月15日(木)

(2) 計画(案)に対する主な意見等

○複合的差別のことが入っていない。間接的には書かれているようだが、人権に関わっている方ならわかるかもしれない
が、一般県民の方にはわからない。複合的差別の概念は一般的にはまだ浸透していないので、理解を拡大する啓発な
どの取組をすると、男女協働参画社会の実現に向けた基盤づくりの中で検討するなどしては。

○ひとり親家庭などの生活上困難な状況に置かれている人への支援として、「地域の民生委員とのつながり」がこの度追
記されているが、この頃は民生委員への相談も難しいという実情がある中で、この文言に違和感がある。「地域のつな
がりなど」といった言葉を足すなど、総合的な支援をするという書きぶりにしては。

5 今後のスケジュール(予定)

令和8年2月 審議会から知事へ答申 → 最終案決定 → 定例県議会へ附議
3月 計画策定

